



「五ヶ瀬中学校校歌より」

# 学 び 舎

五ヶ瀬中学校校長室だより  
令和 元年 9月 26日  
No.5  
文責：校長 戸 敷 二 郎

## 令和最初の体育大会を 開催しました

2学期のスタートから悪天候に悩まされ続け、予定通りの予行練習や大会開催が危ぶまれる中、何とか9月8日(日)に第4回となる本校の体育大会が予定通り開催されました。

当日は天候にも恵まれ、久しぶりの日差しの中で生徒達は元気いっぱいの競技や演技を披露してくれました。

五ヶ瀬中学校となってから競技内容も見直され、毎年のように「大会新記録」が生まれています。今回も女子200m走で3年生の甲斐舞穂さんが33"24の新記録を、また、女子100m走で2年生の落合柊那さんが15"28の新記録をマークしています。来年の大会でもたくさんの大会新記録が出ることを期待したいと思います。

今回、県内の中学校では練習段階から「**熱中症**」で搬送される**事案**が多数報告されていました。ほとんどのケースが**睡眠不足と朝ご飯抜き**の生徒だったようです。大会当日は湿度も高く、体調不良などへの対応も懸念していましたが、**ケガ**を含め大きなトラブルもなく終了できたのは「**早寝・早起き・朝大豆**」の意識で、**各ご家庭において十分な睡眠と朝ご飯を確保していただいている成果**だと感謝しています。8/28実施の美化活動・グラウンド整備とともに改めてお礼を申し上げます。



## 全国学力テストの状況です

先月公表された全国学力・学習状況調査(3年生対象)の結果状況をお伝えします。

**全国学力・学習状況調査(3年生)**～全国と県の結果との比較で示します。(pはポイント)

※ 今回からA・B問題の区別がなくなり、今回は英語科のテストも実施されました。

**国語**・全国平均を**8p** 県平均を**10p** 上回っています。

・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を苦手としている傾向が見られます。

**数学**・全国平均を**14p** 県平均を**15p** 上回っています。

・「関数」を苦手としている傾向があります。

**英語**・全国平均を**9p** 県平均を**10p** 上回っています。

・「書くこと」を苦手としている傾向があります。

※ 上記の「苦手としている領域」も、全国や県の値を大きく超えていることを付け加えておきます。

県の平均は3教科とも全国を若干下回っています。

昨年度示した形に合わせて、今回のテストの全国トップとの比較を下に表示してみました。矢印の太さは数値の大きさ、矢印の向きは比較の上下を示しています。相変わらず**全国トップは「北陸勢」**が独占していますが、今年度の3年生は3教科ともそれを上回ることができています。昨年度福井県を上回ることができなかった「数学」も上に数値を示したように大きな伸びを示しています。

### 五ヶ瀬中学校の状況

【平成30年度】

国語A：秋田 ↑

国語B：秋田 ↑

数学A：福井 ↓

数学B：福井 ↓

理科：石川・福井 →



【令和元年度】

国語：秋田 ↑

数学：福井 ↑

英語：福井 ↑



※全国学力・学習状況調査(生活習慣等)

- ・2時間以上学習は0人/28人(去年)
- ・2時間以上学習は4人/20人(今年)
- ・五ヶ瀬には学習塾はなし

学習状況の欄にもあるように、学習塾もなくガリ勉の傾向も少ない五ヶ瀬で、これだけの結果を示すことができていることが何よりも嬉しいことです。

ただ、いつもお伝えしているように「**数値化できない学力**」についてもこれからの時代は重要視されてきますので、気を抜かず皆で取り組んでいきたいものです。

# グローバルとは

～世界の中の日本、さらには世界の中の五ヶ瀬といった考え方～

まずは辞書で【グローバル】を引いてみましょう。



## 【グローバル】【global】

世界的な規模であるさま。また、全体を覆うさま。(デジタル大辞泉)

世界的な規模であるさま。国境を越えて地球全体にかかわるさま。(大辞林・第三版)

おおむね、どの辞書も上のような解説がなされています。

グローバル化やグローバルな視点など、様々な場面で頻繁に使われており、現在ではもう日本語化されたような感さえある言葉です。最近の報道で拾ってみると、話題の日韓関係、サウジアラビアの石油施設攻撃事件、温暖化の影響と見られるフロリダの巨大ハリケーンとアマゾン川流域の自然火災、千葉県を襲った台風15号など、経済や安全保障の面だけではなく、先の気候行動サミットでスウェーデンの16歳の少女グレタ・トゥンベリさんが涙ながらに訴えた環境問題も含め、それこそグローバルな視点で捉えなければならない事象が私たちの身の回りに溢れています。

これらのことは今始まったことではなく、昔から国際的な秩序づくりや交流などはその時代に应运じて行われてきたのですが、近年のIT機器の発達や技術の向上により更に新しいステージに入っていることをご承知の通りです。

## 自分たちの中学時代とは違う将来に向かう子供たち

保護者の皆様方が中学生時代は『国際理解』といった言葉で、「互いの文化や歴史を尊重し、共に仲良く平和な世界を作っていきましょう。」と教育されたのではないのでしょうか。当然、この理念は現在の学校教育の中にも息づいています。しかし、昔は外国人を間近に見る機会は少なくテレビや映画の中でしか「外国や外国人」を見るのがなかったように思います。しかし、インバウンド（外国人観光客）の増加や外国人労働者の積極的な受入方針、更には東京オリンピックを翌年に控えている状況など、かつてとはまったく違う状況が生まれています。1学期の修学旅行でも、たくさん外国人観光客や労働者に触れてきたことを多くの生徒が話してくれました。



pixta.jp - 40234394

五ヶ瀬町では『佐伯勝元基金』を活用した児童・生徒の海外派遣事業も早くから取り組まれ、ドイツや台湾への研修も行われています。インバウンドを受け入れることはもちろんのこと、自分たちが海外へ足を運ぶ「アウトバウンド」にも力を入れています。今回で2度目となる台湾での研修を終えた生徒からは「語学力を身に付けて、積極的に世界の人々とコミュニケーションを図りたい。」とか「もっと日本のことを知らなければいけないと感じた。」などの感想も聞かれています。

私たち大人が過ごしてきた子供時代から大人になる過程とは**明らかに違う次元の将来を生きる生徒達**に今、何を体験させ、何を考えさせるのかという課題が突きつけられているように感じます。

## Think globarry Act locally ⇒ Glocal

上の言葉は本校の『教育目標と具体的実践事項』の4番目に取り入れている言葉です。グローバルとローカルを組み合わせた造語「グローカル」として近年、各方面で使われるようになりました。特に本地区のような中山間地域の少子高齢現象を改善するためには、皆が知っておいて欲しい考え方です。直訳すれば「考えは世界規模で、行動は地元で」ということになりましょうか。

私たち地域の大人達の願いは、いずれは五ヶ瀬に帰って子育てをして欲しいのが本音です。しかし、まずは一度五ヶ瀬を離れ、外から五ヶ瀬を見つめ直したりグローバルな体験を積んだりした後、自分の特技や身に付けた感性などを生かしつつ五ヶ瀬で暮らす将来を描いて欲しいものです。

そのためには、**今の大人である私たちこそが**グローカルな視点に立って行動し、子供達の環境を整え、五ヶ瀬や西臼杵の素晴らしさを伝えながら、来たるべき近未来の五ヶ瀬や西臼杵を設計していかねばならないと考えます。時を逃さず、今こそ取り組みましょう！